Ⅱ　横浜市立港南台第二小学校　全体計画構造図

国や市の方針

日本国憲法　教育基本法
学校教育法　学習指導要領
横浜教育ビジョン
横浜市教育振興基本計画
中期学校経営方針
横浜版学習指導要領
第二小いじめ防止基本方針

児童の実態

・明るく素直・落ち着きがある
・受容したり、共感したりする心が育ってきている
・自分の思いや願いを表現することが苦手な子もいる

学校教育目標

生きる喜びを実感する第二小の子どもたち

〇元気で明るく、のびのびと生活する子を育てます。（元気）
〇進んで自分を表現し、人とつながる子を育てます。（勇気）
〇問題解決に、根気よく努力する子を育てます。（根気）

職員の思い・願い

協力、共生、個性、表現力
問題解決

保護者の思い・願い

思いやり、協調、協力
自分つくり、意志決定、
問題解決、新しい方法や考え

近隣校の思い・願い

思いやり、協調、協力
自分つくり、意志決定、
問題解決、新しい方法や考え

地域の思い・願い

地域の特性

学校教育目標を実現するための具体的な目標

知　学びの空間の多様化を進め、課題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を育て、一人ひとりの個性が発揮できるように、学習内容、方法を工夫します

徳　生きる喜びを実感し、自分と同じように相手を尊重する心や態度を育て、認め合える環境をつくります

体　心と体の健康を守ることに関心をもち、望ましい生活習慣を身につけ、自ら進んで健康づくりに取り組む姿勢を育てます

公　社会のために貢献する活動を取り入れ、社会の一員として求められる姿勢や資質を身につけられるようにします

開　日本の伝統や文化を尊重しながら、様々な人々とのコミュニケーションを大切にし、広い心で接することのできる子を育てます

近隣の幼稚園

保育園の特色

運営方針

低学年の目標

・望ましい生活習慣を身につけ、元気で明るく毎日を送ろうとする姿勢を育てます。
・自分の思いを表現し、相手と広い心で接しようとする子を育てます。
・自分と同じように相手を大切にし、進んで活動しようとする子を育てます。
・問題解決に向け、頑張り続けようとする子を育てます。

中学年の目標

・心と体の成長に関心を持ち、健康的な毎日を送ろうとする姿勢を育てます。
・自分の思いを表現し、互いに思いやり、認め合う子を育てます。
・良いと思ったことを進んで活動しようとする子を育てます。
・問題解決に向けて最後まで頑張ろうとする子を育てます。

高学年の目標

・生きる喜びを実感し、自ら進んで健康づくりに取り組める子を育てます。
・生きる喜びを実感し、互いのよさを認め合える子を育てます。
・日本の伝統やいろいろな文化を尊重できる子を育てます。
・問題解決に向けてねばり強く取り組める子を育てます。

港南台第一中学校　学校教育目標

私たちは「深く思考し、的確に判断し、豊かに表現する」力と意欲をはぐくみます。

日野南中学校　学校教育目標

いのち　ふれあい　たくましさ

６の重点的課題　教育課題への取組

教科等の目標

低・中・高学年別の指導の重点

豊かな心の育成

1　ふれあい活動
・他学年の児童との活動を通して、思いやりや感謝の気持ちを育てる。
2　人権教育の充実
・港南台ひの特別支援学校との交流
・日常の人権意識の啓発
・人権週間の取り組み
3　道徳教育の充実
・「みんなの道徳」の活用
4　学校の環境整備
・日常の整理整頓　・清掃活動指導の充実　・学習環境

健康でたくましい体の育成

1　目標設定をし、その実現に向けた体力向上
・中休み、昼休みの外遊びの励行　・中休み事業への参加
・陸上の朝練習
2　食教育の充実
・食教育の実施
・「早寝」「早起き」「朝ご飯」の推奨

国語力及び学習の基礎的能力の育成

1　全教科等における表現力の育成
・「書く」「話す」の指導の徹底
・ノート指導の充実、話し方、聞き方の基本指導の充実
2　読解力の育成
・読み聞かせ、朝読書の充実

コミュニケーション能力の育成

1　心豊かな人間関係づくり
・集団活動や体験的な活動の充実
・あいさつ、返事の励行
2　組織的な児童指導の取組
・「YP」による社会的スキルの育成
・小中での系統的な指導の継続
3　英語教育の充実
・教材や指導法の工夫

情報化社会を生き抜く能力の育成

1　情報モラルの育成
・子どもへの指導と同時に保護者への啓発
2　情報機器の積極的な活用
3　情報教育センターとしての図書館教育の充実
・図書館の整備、朝読書、読み聞かせの充実

社会の変化に対応する能力の育成

1　安全教育の充実
・自分の身は自分で守ることができることを基本とした指導
2　福祉教育の充実
・　体験的な学習の充実を図る
3　環境教育の充実
・ゴミの分別
・エコクッキング

４つの具体的取組

『横浜の時間』の充実
～総合的な学習の時間の再構築～
・体験的な活動、問題解決的学習
・地域の素材の単元化　・地域の人材活用

小中学校英語教育推進
・コミュニケーション能力の向上
・全学年で「横浜国際コミュニケーション活動・ＹＩＣＡ」を設定

読解力向上に向けた横浜型指導モデルの推進
・朝読書、読み聞かせの充実
・読解力の育成
・学校司書との連携

一人ひとりのニーズに対応した教育の実現
・知識、技能の習得と活用に向けた授業改善
・特別支援教育の充実
・取り出し指導の充実　・少人数指導の充実

異校種間及び地域との連携・協力